

中央区見てある記～船場編～ 商いのまち「船場」で育まれた 食文化と薬文化

まちあるき

日時:2022年10月8日(土)9:30～

主催:大阪市中央区役所

場所:船場界限

参加人数:30名(現地参加22名、オンライン参加8名)

すぐれもん:大西趣卓さん、千万多津子さん



道を示すパネルについて説明する千万さん



高麗橋の歴史について説明する大西さん



道修町の歴史を説明する千万さん

船場の魅力を再発見！

商いのまち「船場」で育まれた食文化と薬文化



オンライン配信での美々卯訪問の様子
(YouTubeライブ配信)



御堂筋の歴史について説明する大西さん



愛珠幼稚園について解説する千万さん

中央区の魅力を発見するまちあるきイベント「中央区見てある記～船場編～」を開催し、中央区まちのすぐれもの大西さん、千万さんに船場周辺の歴史を解説していただきながら、まちあるきを行いました。

今回のまちあるきは、新型コロナウイルス感染症対策として2グループに分かれ、大阪の蘭学塾の遺構「適塾」から出発しました。除痘館記念資料室では一般財団法人緒方洪庵記念財団専務理事・学芸員の川上さんに、天然痘の歴史について解説していただきました。

まちあるきでは、長年中央区で暮らす、地域に精通したすぐれもの解説で、中央区の深みを味わいました。途中、くすりの道修町資料館や田辺三菱製薬史料館に立ち寄り、施設内部を見学。薬のまちとしての道修町の歴史や薬の未来について学びました。最後に御霊神社の前を通過、船場の老舗店「美々卯(本店)」を見学しました。

普段、暮らし、働いている中央区の歴史を改めて知ること、まちの楽しさを味わうことができました。

すぐれもの大西さんや千万さんは、参加者からの質問に答えながら、船場界限の歴史・文化をたっぷり案内していただきました。当日はYouTubeを使ったオンライン配信も行い、ご自宅にいらっしゃる方も、すぐれもの声を届けることができました。

当日のまちあるきルート(約2時間)

適塾→除痘館記念資料室→少彦名神社／道修町ミュージアムストリート周辺→御堂筋→美々卯(本店)→愛日会館



中央区まちのすぐれもん

大阪市のHPでは、まちのすぐれもの利用ガイドや中央区まちのすぐれものの活動状況などを紹介しています。是非チェックしてみてください！

<https://www.city.osaka.lg.jp/chuo/category/3133-3-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

まちのすぐれもん

検索



「まちのすぐれもん」で検索してね！